

1-7 県内広域での牛ふん堆肥受託散布

(有限会社J1・タケダファーム)

○ 有限会社J1・タケダファームは、地域全体で畜産農家と耕種農家が連携できる仕組みづくりを目指し、県内広域で自社牛ふん堆肥の輸送・受託散布の体制を構築し、自社が給餌する稲WCS圃場を中心に堆肥散布面積を拡大させた。

■国内資源の種類

・牛ふん

■肥料の種類・肥料名称

・特殊肥料（牛ふん堆肥）

■取組の経緯・内容・成果（見込み）

取組の経緯

・水田での牛ふん堆肥散布には専用機器が必要であり、まとまった面積の圃場が畜産農家から遠方であることから、広域での耕畜連携は難しかった。そこで地域全体で畜産農家と耕種農家が連携できる仕組みづくりを目指し、平成29年より畜産農家である有限会社J1・タケダファームがマニュアルスプレッダー等を購入して稲WCS圃場等への堆肥受託散布を開始し、県内広域での輸送・散布の体制を構築した。稲WCSは購入して同社で給餌することで、散布面積は年々増加した。

取組の内容

・現在は有限会社YT・コーポレーションが堆肥散布作業、良質堆肥製造指導を専門に担っている。令和4年産稲WCSでは計36Haに散布（県WCS総作付面積の92%）。近年は主食用米や隣県の畑地でも散布している。

成果（見込み）

・稲WCS収穫後に農業者の希望に応じた量を施用（標準2t／10a）。元肥の効果と稲体持ち出しにより損失した有機質の補給効果が見込まれる。

■作物

・稲WCS等

■主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K
0.91	0.81	2.92

・おがくず、もみがらを副資材に使用
(成分と副資材は時期により変動の可能性あり)

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ

資源供給者

有限会社J1・タケダファーム
(奈良県山辺郡山添村)

牛ふん
おがくず
もみがら

自社で堆肥化处理

肥料製造者

有限会社YT・コーポレーション

良質堆肥製造指導

肥料利用者

農業者

・県内の集落営農組織（稲WCS、主食用米）
・隣県畑地
等

販売

散布

委託

直接販売

■今後の課題・取組

- ・肥料価格高騰と環境保全型農業への転換傾向を受け、需要が増加しており、地域特性から茶栽培圃場での散布要望もある。
- ・今後は堆肥散布体制を拡充し、地域一体で一次産業の振興を目指す。

